

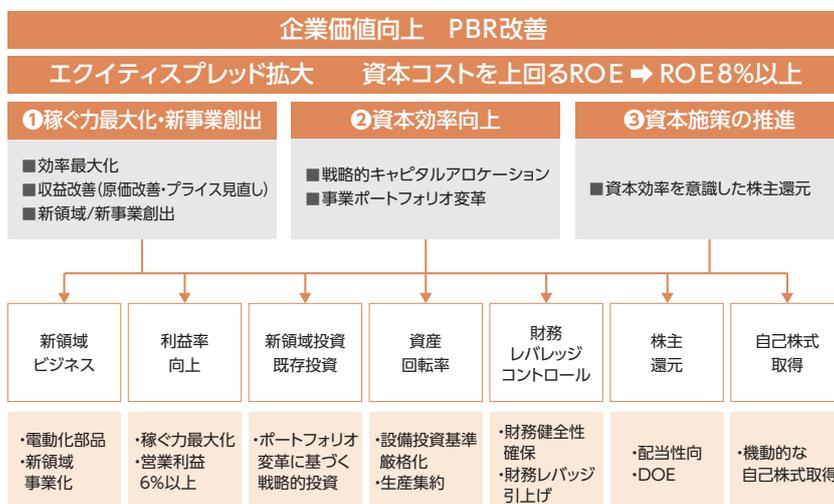


経理・調達領域 領域長 延川 洋二

稼ぐ力の最大化により、将来に向けた
戦略的投資と株主還元を図ってまいります。

基本的な考え方

持続的な企業価値向上を図るため、収益性、資産効率、財務レバレッジを総合的に表すROE(自己資本利益率)を経営指標の一つとして掲げ、資本効率の向上を重視する経営を加速させてまいります。当社のグローバル水準の株主資本コストは8%程度でございますが、これを上回るROEを経営目標とし、エクイティ・スプレッド(ROE - 株主資本コスト)の拡大に向けて取り組んでまいります。



財務マネジメント

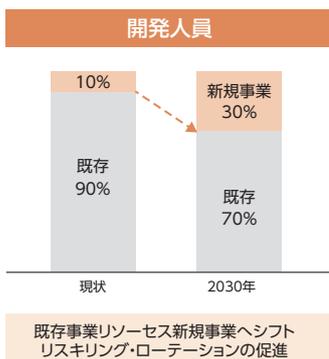
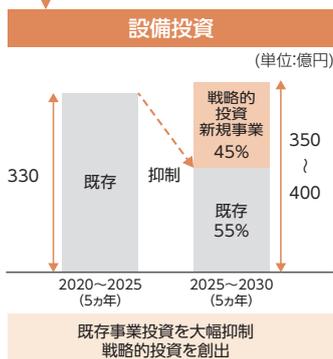
バランスシート(2024年3月末現在)

(単位:億円)

流動資産 625	その他負債 243
	長短債務 226
非流動資産 569	株主資本 720
	5
1,194	1,194

戦略的投資、当面の有利子負債をカバーする手元流動性を保有

現預金を中心とする手元流動性を保有
必要な流動性をオンバランスで確保



安全性

営業利益率やROE、ROICといった指標の向上に注力することに加え、財務の健全性維持の観点からD/Eレシオ(有利子負債/自己資本)などの指標を重視しております。当指標は健全な水準を維持しており、設備投資や戦略的投資などの成長投資を機動的に実行できる財務基盤を確保しております。今後も財務の健全性と成長投資のバランスを取りながら、持続的な成長と企業価値の向上を追求してまいります。

戦略的投資に向けた考え方

資産・資本効率の観点から効率的な事業運営を進めてまいります。当年度は2030年を見据えた上で、中長期投資やリソース配分についての方向性を定めました。リソース配分として、設備投資については既存事業への投資を45%低減し、C/N含む戦略的投資・新事業投資を創出してまいります。開発人員については、リスクリング・ローテーションを推進し、新規事業へシフトを図ってまいります。